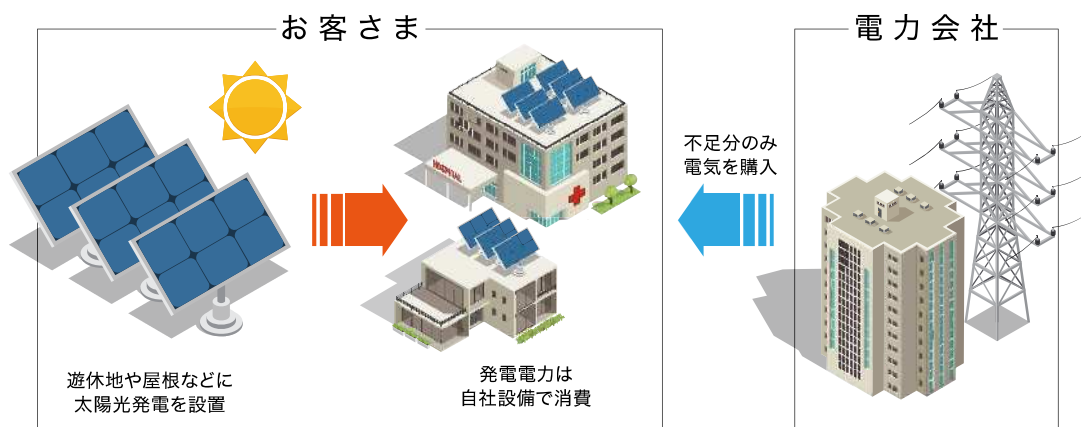


# 自家消費型太陽光 のご案内

中電工は創エネを通じて社会貢献されるお客さまのニーズに  
ワンストップソリューションでお応えし、  
太陽光発電システム導入を全力でお手伝いいたします。

## 自家消費型太陽光発電システムについて

自家消費型太陽光発電は、発電した電力を電力会社に売電することなく、自社の設備に供給して使用するシステムです。

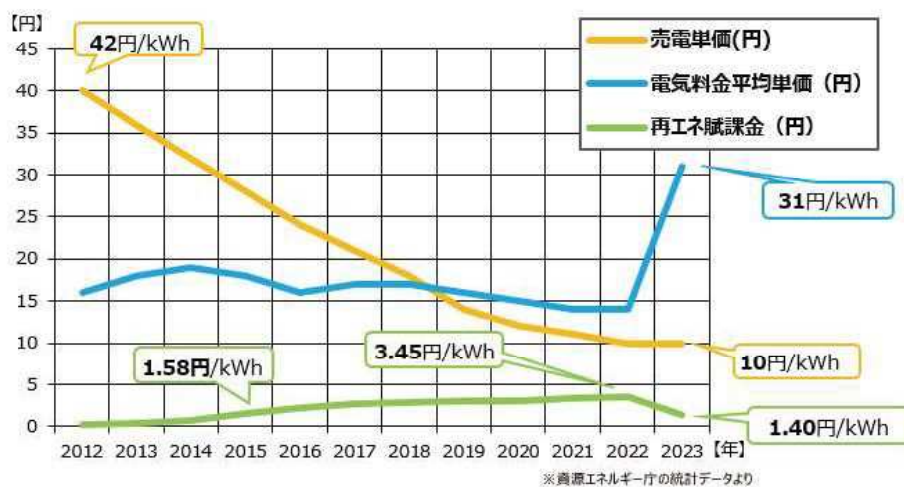


## 電気料金と売電単価の推移

2012年に始まった固定価格買取制度の売電価格は当初42円/kWhでしたが、2023年は10円/kWhとなり、電力会社から購入する電気料金よりも安くなっています。

また、再エネ賦課金は2023年に1.4円/kWhとなりましたが、今回の減額は市場価格高騰による一時的なもので、今後の単価の推移は引き続き注視する必要があります。

電気料金の高騰も要因となり、発電電力を売電するよりも自家消費に利用することで、より大きなメリットを得ることができます。



発電電力を売電するより、

自家消費にて電気料金の削減を図る方がより多くのメリットを享受できます。



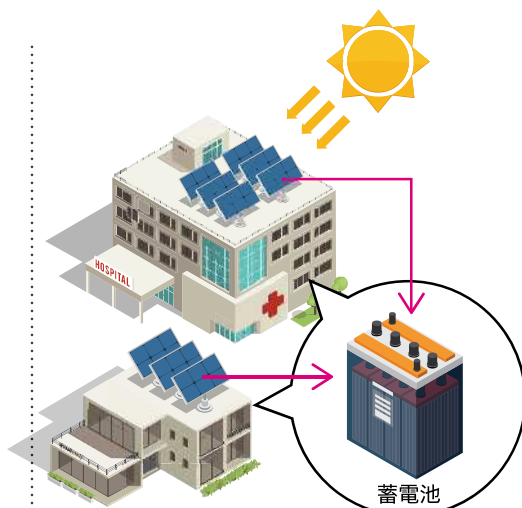
## 自家消費型太陽光のメリット

自家消費型太陽光発電設備を設置することで、電気料金の削減はもちろん、災害時の事業継続性向上の実現が図れます。また、企業やビルのイメージアップに繋がるほか、建物価値が向上します。



### メリット 1 電気料金の削減

発電電力を自家消費することで、電力会社からの電力の購入が減少、さらに再エネ賦課金の削減が可能となります。



### メリット 2 BCP対策

電気を創って蓄電池に蓄えることで、災害時の事業継続が可能となります。



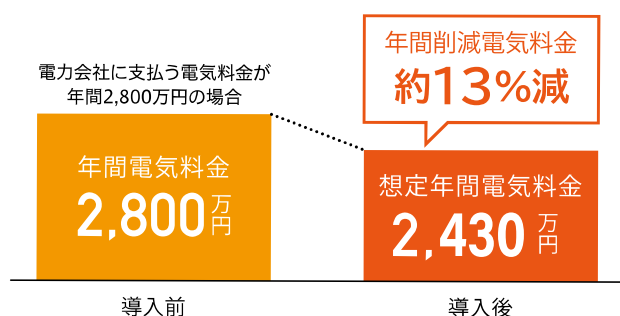
### メリット 3 企業の環境経営によるイメージアップ

創エネを通じて環境問題に取り組むことで、SDGsやESG投資が重視され、企業のイメージが向上します。

自家消費型太陽光発電は、20年間の期限がある固定価格買取制度とは違い、設備が稼働するかぎりメリットが続きます。お客さまによっては、工場立地法対策として環境施設面積への算入や、設備設置に係わる固定資産税の一括償却、税額控除などのメリットもあります。また、政府も再エネ導入促進の方針を打ち出しており、補助金の活用も見込めます。

## 自家消費型太陽光の導入効果

自家消費型太陽光を導入した場合、自社設備に発電電力を供給することにより、電気料金の大幅な削減に寄与します。



### 導入前と導入後の電気料金比較

想定年間  
電気料金削減額 約370万円

想定投資  
回収年数  
6.5年

【計算条件】 自家消費型太陽光導入費：2,400万円  
□システム定格出力：100kW □年間自家消費電力量：113,000kWh  
□購入電位料金単価：31.32円/kWh □再エネ賦課金：1.40円/kWh

※上記導入効果は年中無休にて発電電力をご利用頂ける場合の一例です。  
※想定投資回収年数は固定資産税、保守費用等を見込んでいません。

### 自家消費型太陽光発電設備設置事例



自家消費太陽光発電に蓄電池を組み合わせ、BCPに対応したZEB建築物  
■ 発電容量：33kW

中電工は超大型から小規模まで、太陽光発電設備工事において確かな実績があります。自家消費はもちろん、それ以外のシステムでも、「太陽光発電設備の設置に興味がある」、または「設置したいがどうすれば良いか判らない」などお悩みがあれば、ぜひ中電工にお問い合わせください。

太陽光発電設備のほか、設備全般に関するお問い合わせは



中電工

